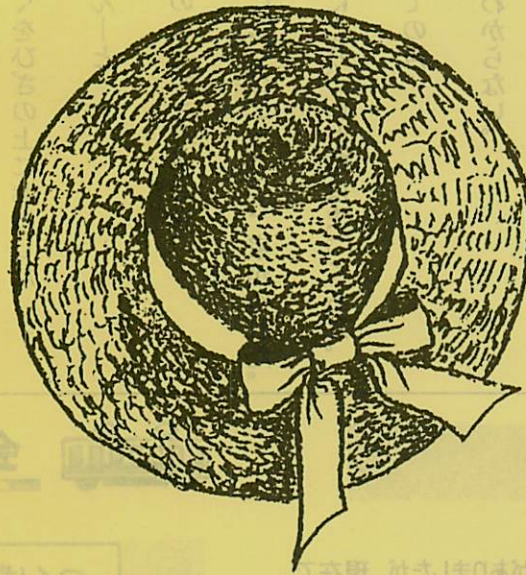


サラダの会朗読グループによる

朗読劇

2012



8月4日(土) アルスホール

開場 13:30

入場無料

つくば市立中央図書館 2F

開演 14:00

(茨城県つくば市吾妻2-8)

主催：サラダの会朗読グループ

演奏：ギター 長洲毅志

フルート・オカリナ 海老澤良子

後援：つくば市教育委員会

土浦市教育委員会

戦後 67 年。もう 67 年？まだ 67 年？

みなさんはどうとらえますか？

この朗読劇の最後は、「もう一度普通の娘になってみたい」と願いながら、白血病のため 25 歳で亡くなっていった女性の遺稿で終わります。

スクリーンには、昭和 37 年 2 月 16 日死亡、と・・・。

ちょうどその年に生まれた私はこの女性をとってもいとおしく思います。

同時に、戦争は、原爆は、そんなに遠い昔の話ではないんだと思い知らされます。どうぞ今年もこの子たちの声に耳をかたむけてください。

ギターとフルート、オカリナの生演奏と共に上演いたします。

(浦里晴美)

げんばく

小学三年 田川よります

サイレンがなった。

おばあちゃんが「よかった、かいじょよ」

と ぼくをひざの上におろした。

ぐうんーと

あたまの上でひこうきの音、

とたんにピカリごくんと家がゆれた。

ひっしにとりついた時はまっくらだ。

たすけての声、

あとはわからない。

ほんとにこわかった。

きのこぐもがぐわぐわとまいあがる。

あの雲はわすられない。

「原子雲の下より」



2011 アンケートより

広島で実際に起こったこと、小さい頃から聞いたことがありましたが、現在ではとても想像できないことで、あまりよく分かっていませんでした。でも気持ちの込められた朗読、様々な写真、素敵な生演奏、私なりにイメージを膨らませることができました。(高校生 女子 ※抜粋)

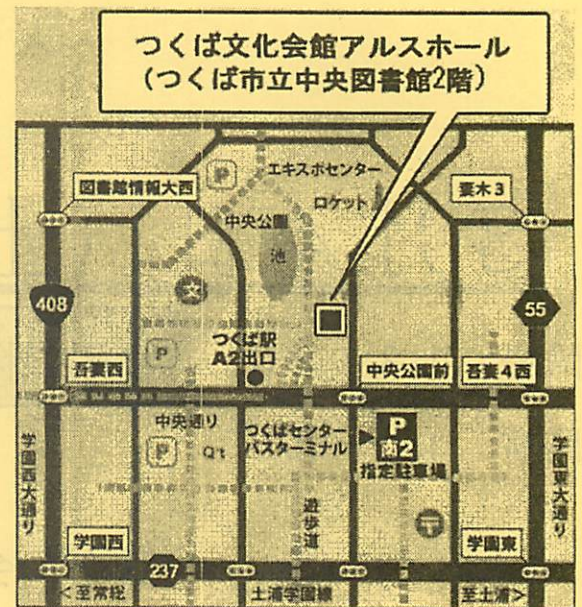
被爆した子の母の気持ちをくみ取って、それを朗読にのせていた。子を亡くした母の嘆きがすこく伝わってきて、原爆の悲惨さを思い知った。きっと母親は、いつものように学校に送り出したつもりなのに原爆によって突如その日常が奪われたことを考えると、本当に今の生活のありがたさを感じた。(高校生 男子 ※抜粋)

あの日さまい歩いた罪の無い尊い命たちのことを思うとやり場の無い思いが胸をふさぎます。普通の何でも無い安らかな一日をすごしていた人たちの、失われてしまった美しい生を、思いを、記憶を忘れないようにしたいです。(高校生女子 ※抜粋)

広島県人です。忘れかけていた方言をなつかしく聞きました。広島県では小さい頃から原爆教育というものを受けてきました。このつくばに来てからも 8 月 6 日 8 時 15 分は忘れることができません。広島にいた頃は、常にどこか意識の中にありました。でもこちらでは誰もがひとごとのように、全く話題にしく、私もその気持ちになりかけていました。今回参加して、又以前のような気持ちを取り戻すことが出来ました。(60代 女性 ※抜粋)



会場までのアクセス



電車で… TX つくば駅下車 A2 出口 徒歩3分
バスで… つくばセンター下車 階段上り遊歩道3分
車で… お近くの有料駐車場にどうぞ 1時間220円

[お問合せ]

029-887-3226 大曾根
029-877-2275 浦里